

成果指標 8. 主要駅周辺のバリアフリー化率

石川県では、道路整備に合わせてバリアフリー化を進めています。特に不特定多数が訪れる主要駅周辺での早期の整備が求められています。このため、バリアフリー化を示す成果指標として、主要駅周辺の特定経路における整備済み延長の割合を採用しています。

$$\text{主要駅周辺のバリアフリー化率} = \frac{\text{バリアフリー化した特定経路延長}}{\text{全特定経路延長}}$$

- * 対象路線：国道、県道、市町道のうち、特定経路に指定されている道路の延長約 43km
- * 特定経路とは、高齢者・身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（通称「交通バリアフリー法」）に基づき、整備が必要な経路
- * 主要駅とは、交通バリアフリー法の対象となる、一日の利用客数 5,000 人以上の主要駅であり、県内では 5 駅が対象となります。（JR 金沢駅、JR 西金沢駅、JR 松任駅、JR 小松駅、JR 加賀温泉駅）
- * バリアフリー化とは、交通バリアフリー法に基づく道路の構造基準を満たすもので、具体的には、①歩道幅員が 2 m 以上、②勾配が 5 % 以下、③歩道と車道との段差が 2 cm の整備を基本とし、さらに視覚障害者の利用が多い区間については、④視覚障害者用誘導ブロックの整備がなされたもの。

成果に向けた取組み

■ 道路整備に合わせたバリアフリー化の推進

高齢者・身体障害者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができる社会を目指し、「石川県バリアフリー社会の推進に関する条例」に基づき、県全域において、道路の整備に合わせ、バリアフリー化を推進します。

■ 交通バリアフリー法に基づくバリアフリー化の推進

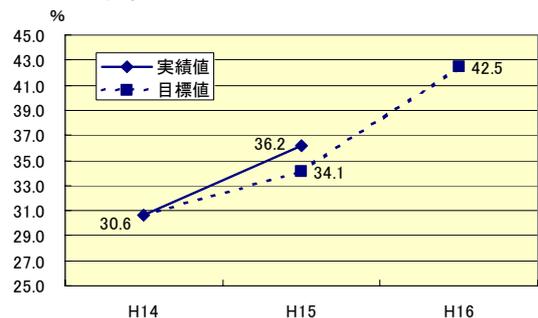
特に、不特定多数の利用者が訪れる主要駅周辺の特定経路においては、交通バリアフリー法に基づき、既存施設の改善も含め、バリアフリー化を進めます。

成果指標の動向

- 主要駅周辺のバリアフリー化率は、平成 14 年度の 30.6% (13.3km) から、平成 15 年度の 36.2% (15.8km) へと 5.6% (2.5km) 増加し、目標を達成しました。

- 平成 16 年度は、金沢駅及び松任駅での段差解消等の整備により、平成 14 年度実績から 11.9% (5.3km) の増加を目標とします。

平成 14 年度の実績		30.6% (13.3km)
平成 15 年度	計画	34.1% (14.8km)
	実績	36.2% (15.8km)
平成 16 年度の目標		42.5% (18.6km)



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

駅名	H15 整備延長	バリアフリー化率		主な路線名	主な整備内容
		H14 末	H15 末実績		
JR 金沢駅	0.8km	約 23%	約 31%	(市) 武蔵・森山線	幅員確保 段差解消 勾配の改善 誘導ブロック
JR 西金沢駅	0.1km	約 7%	約 9%	(都) 西金沢駅通り線	
JR 松任駅	0.4km	約 29%	約 32%	(市) 松南線	
JR 小松駅	0.5km	約 54%	約 61%	(主) 金沢美川小松線	
JR 加賀温泉駅	—	100%	100%	—	

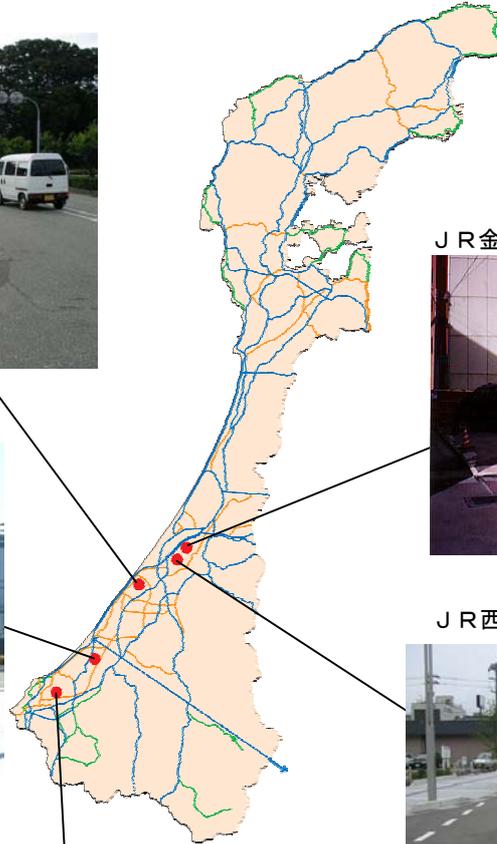
J R 松任駅周辺



J R 小松駅周辺



J R 加賀温泉駅周辺



J R 金沢駅周辺



J R 西金沢駅周辺



業績計画（平成 16 年度の取組み）

■ 平成 16 年度に供用を予定している主な箇所

駅名	H16 整備 予定延長	バリアフリー化率		主な路線名	主な整備内容
		H15 末	H16 末計画		
JR 金沢駅	2.3km	約 31%	約 42%	(市) 広岡 1 丁目 11 号線	幅員確保 段差解消 勾配の改善 誘導ブロック
JR 西金沢駅	0.0km	約 9%	約 9%	—	
JR 松任駅	0.5km	約 32%	約 36%	(市) 松南線	
JR 小松駅	0.0km	約 61%	約 61%	—	
JR 加賀温泉駅	—	100%	100%	—	

